

# 事務事業チェックシート

事務事業No 事業名  
**458** **ロケ誘致事業（ロケ誘致のPR活動、ロケに対する支援活動）**

分野別目標	3	市民と地域がつくる元気なまち
政策	3	観光の振興
施策	2	観光客の誘致
基本方針	3	多様化する観光ニーズへの対応

事業種別	継続	主な事務事業
事業期間	H20 ~	
事業実施の根拠法令		
関連個別計画		
担当課・担当課長 (Tel)	観光課	西川 隆博 (435-1234)
関連課		

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費
	その他		
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務
	その他		
会計・予算区分	会計	一般会計	
	款	商工費	
	項	観光費	
	目	観光振興費	
	大事業	観光振興事業	
事項	ロケ誘致事業		

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
	○			
44の約束				○

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容				
	映像を通して本市の認知向上やイメージアップを図る。	各種ロケの誘致活動や本市で行われるロケに対する様々な支援活動を充実させることにより観光振興を図る。				
実施内容		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		○映画・ドラマ等のロケ撮影に対する情報提供 ○エキストラの手配、撮影の同行 ○和歌山市ロケ地情報の作成	○映画・ドラマ等のロケ撮影に対する情報提供 ○エキストラの手配、撮影の同行 ○和歌山市ロケ地情報の作成	○映画・ドラマ等のロケ撮影に対する情報提供 ○エキストラの手配、撮影の同行 ○和歌山市ロケ地情報の作成 ○ロケ誘致補助事業	○映画・ドラマ等のロケ撮影に対する情報提供 ○エキストラの手配、撮影の同行 ○和歌山市ロケ地情報の作成 ○ロケ誘致補助事業	○映画・ドラマ等のロケ撮影に対する情報提供 ○エキストラの手配、撮影の同行 ○和歌山市ロケ地情報の作成 ○ロケ誘致補助事業

2 事業コスト

事業費等 千円		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	計画	決算	
	事業費	81	71	86	74	10,676		10,676		10,676		
	伸び率 (%)	-	-	6.2%		12314.0%		0.0%		0.0%		
	人件費	常勤職員	6,259	6,629	6,629	6,483	6,483		6,483		6,483	
		非常勤職員	302	301	301	281	281		281		281	
		小計	6,561	6,930	6,930	6,764	6,764		6,764		6,764	
	国庫支出金					6,004		6,004		6,004		
	県支出金											
	市債											
	その他											
	一般財源 (税等)	81	71	86	74	4,672		4,672		4,672		
	所要人数	常勤職員	0.84	0.87	0.87	0.87	0.87		0.87		0.87	
非常勤職員		0.14	0.14	0.14	0.14	0.14		0.14		0.14		
主な予算内訳		和歌山市ロケ誘致支援補助金 10,500千円										

3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況				平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
					年度目標値				
					実績値				
	単位	全体目標値	全体目標達成度		年度別達成度				
					年度目標値				
					実績値				
成果指標	ロケ実施件数				25	50	60	70	80
					年度目標値				
					実績値	48	54		
	単位	件	全体目標値	50	全体目標達成度	108.0%	192.0%	108.0%	
					年度目標値				
					実績値				
単位		全体目標値		全体目標達成度					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	T V番組、映画などの撮影に対する誘致、支援活動を充実させ、メディアに露出する機会を増加させることで本市の観光資源の魅力をアピールしていく。
「見直し」 「改善」案	映画会社やテレビ局に働きかける手法を検討する。